

# 臨床研究へのご協力をお願い

## 研究課題名:

高次脳機能障害患者に対する外来リハビリテーションにおける  
メイヨー・ポートランド適応尺度(MPAI-4)と機能的自立度評価法(FIM)との  
アウトカム尺度としての有用性の比較:単一施設での検討

研究所属部署: リハビリテーション療法部

研究責任者: 大山 望 共同研究者: 河野 寛一, 迫田 京佳

## 研究目的:

高次脳機能障害を有する患者さんに対する外来リハビリテーションのアウトカム評価として使用している尺度の適性を調べ、患者さんの退院後のフォローアップの質の向上に繋がる一助とします。

## 研究方法:

対象は、2020年3月1日～2023年3月31日までに、当院の外来作業療法を利用した高次脳機能障害を有する患者さんです。一度の来院でフォローアップ終了した方は除きます。

対象患者さんの Mayo-Portland Adaptability Inventory-4(MPAI-4)および Functional Independence Measure (FIM)というリハビリアウトカムのデータについて、介入前後の得点(各項目および合計)がリハビリ中の変化や状態を捉えている程度を比較し、MPAI-4の尺度構造を分析します。

本研究は、潤和会記念病院倫理委員会により承認された後ろ向き調査研究です。研究の実施にあたっては、患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんの個人情報については法令に基づいて適切に処理します。この研究で得られた成果を学会や学術雑誌などに発表する可能性があります。発表する場合はプライバシーに慎重に配慮しますので個人を特定できる情報が公表されることはありません。研究計画や方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究にカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは下記の「相談窓口」へ同意撤回の旨をご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。撤回の時期が、データを匿名化した後や研究成果を公表した後の場合には、同意の撤回に従った措置を講じることが困難となりますのでご理解下さい。

相談窓口(平日 9時から 17時) リハビリテーション療法部

研究担当者: 大山 望